

ぎのわん地域づくり塾 ニュースレター

主催：宜野湾市 / 宜野湾市社会福祉協議会 運営：特定非営利活動法人 まちなか研究所わくわく

Vol. 7

H28. 10. 15 ～ぎのわん地域づくり塾の様子をお伝えします～ 発行：宜野湾市市民協働推進課

学びの集大成、長田区のみなさんに発表

第7回 <10月8日(土)10:00-15:00> 34人参加
(長田区民11名、一般13人参加)

長田区に向けた最終発表 修了式

長田区をフィールドに3か月間学ばせて頂いた成果の集大成として、各チームで議論を深め練られた企画提案の発表を行いました。

長田区民、一般参加者が関心を寄せ注目する中、7チームの塾生の様々な視点からの企画が披露され、さらに、発表に対し付箋紙やマイクを通して参加者の皆さんがコメントを寄せて下さり、長田区や地域への想いを共有する場となりました。

塾長の佐喜真市長から、塾生の意欲や姿勢に感銘をうけ激励する挨拶があり最終発表会がスタート。



○志真志四丁目ローソン裏スーヅグラー美化推進計画

画：草が伸び、ポイ捨てや違法駐車も多いスーヅグラーを、皆が気持ちよく歩け、周辺住民が自主的、持続的に管理、利用できる状態を目指す。



○夜、ひとりで過ごしている子どもをどうにかしたい：子どもの居場所をつくることにより、子どもとその保護者が地域の一員として自覚がもてるような体制づくり（孤立を防ぐ）を目指す。



○歩く社会資源の育成～高齢者の孤立・貧困～：高齢者の地域での孤立を防ぐための環境づくりを行う。誰でも気軽に来られる居場所を作り、人が繋がる地域づくりを提案。



○一人暮らしの高齢者(男性)：仕事を退職した後の居場所がなく、隣近所のつきあいもない。孤立を防止する為に、他の人と交流できる居場所づくりをし、そこから健康維持につなげたい。



○高齢者が近所付き合いをよりよくするためには：住居が公民館から遠くても気軽に集える場所として、一人暮らしの家、空き家、庭等で、自治会と連携して行う「ゆんたくサロン」を提案。

○高齢者の買い物について:日常生活を送るうえで必要な買い物の実態を調査した。起伏が激しく、狭い道があるため、将来的に高齢者が増加した場合は、不安があることを報告。



○長田小学校区スクールゾーンの交通危険度が高い:地域を支える団体がつながりあい、共に楽しく取り組む交通安全の基盤づくりを提案。

長田区のみなさんより



「長田区に50年住んで、民生委員として12年活動していても、気づかなかったことを発表頂いて嬉しい。」「高齢者率も上がってきて、近

所付き合いはますます難しい時代になっている中、このような企画を頑張ってくれた。皆で理解し合う地域づくりをして、繋がりを作ってほしいと思う。」など、7名のみなさんが発表に対してコメントして下さいました。



長田区自治会 富濱宗俊 会長

自治会のような「地縁組織」は自治会未加入世帯とどのようにつながりをつくっていくかが課題。

世帯増加するなかで、多種多様な価値観をもった方たちと課題解決に取り組む地域活動を共有する場面を増やすことが大切。そのような時に塾生のみなさんのようなコーディネーターの力が必要だと感じる。これからも地域づくりに取り組みたい方、自治会を応援して下さる方、地域を元気にしたい方と一緒に取り組んでいきたい。

ぎのわん地域づくり塾にご協力いただきました長田区地域の皆様に心より感謝申し上げます。



修了式

社会福祉協議会
多和田 眞光 会長

塾生代表挨拶
宮城エリカさん
宮城祥さん

3ヶ月の頑張りに対し、一人ひとりに修了証が手渡され、塾生や主催者より挨拶を頂きました。

総括コメント ～抜粋～

高崎経済大学

櫻井常矢 教授

(塾アドバイザー)



総括として、H23年から宜野湾市の協働の地域づくりにご指導下さっている櫻井先生よりコメントをいただきました。

○「ぎのわん地域づくり塾」は一つの地域(長田区)に塾生が入り、学びを深めるといふ、オリジナリティのある講座のスタイル。長田区民の皆さんのおかげで貴重な講座となった。

○塾生のみなさんの発表は、「事業活動」(お祭り・イベント等)そのものではなく、「地域課題」を掘り起こし、「話し合い」の場づくりを設けるなど、いずれもプロセスを大切にしていた。地域づくりに重要な視点をよく取り上げていた。

○すでにある地域の努力を知ることはコーディネーターとしてのマナーである。その上で、地域の皆さんが持っている「悩み」(課題)を解決して行くことが大切。答えは常に地域の中にある。

○コーディネーターは、課題解決の主体ではない。地域の皆さん自身が考え、話し合い、解決していく場をつくる。発表ではその点が意識されていた。

○地域社会が多様化するなかで、住民の一人ひとりが信頼で結ばれるような関係づくりが必要。人びとがつながる場やみんな話し合う場づくりが大切になってくる。

○塾生の皆さんには、宜野湾市の新たなまちづくりの担い手として大いに活躍いただきたい。

塾生の声 ～アンケートより～

～気づき・学び・感想～

○最後の櫻井先生の話はとても感動して涙が出ました。

○様々な業種の方々から異なる視点があり、また同じような考えや意識のある方が多いことも新たな発見だった。

○修了生同士の交流する機会をこれから数多く作って頂きたい。

○コーディネーターとして地域を知ることにもっと努めたいと思います。

○自分の職場や住居の両地域で、今回の活動の成果をつなげて行きたい。

塾生のみなさんお疲れ様でした。
これからの活躍を応援します。